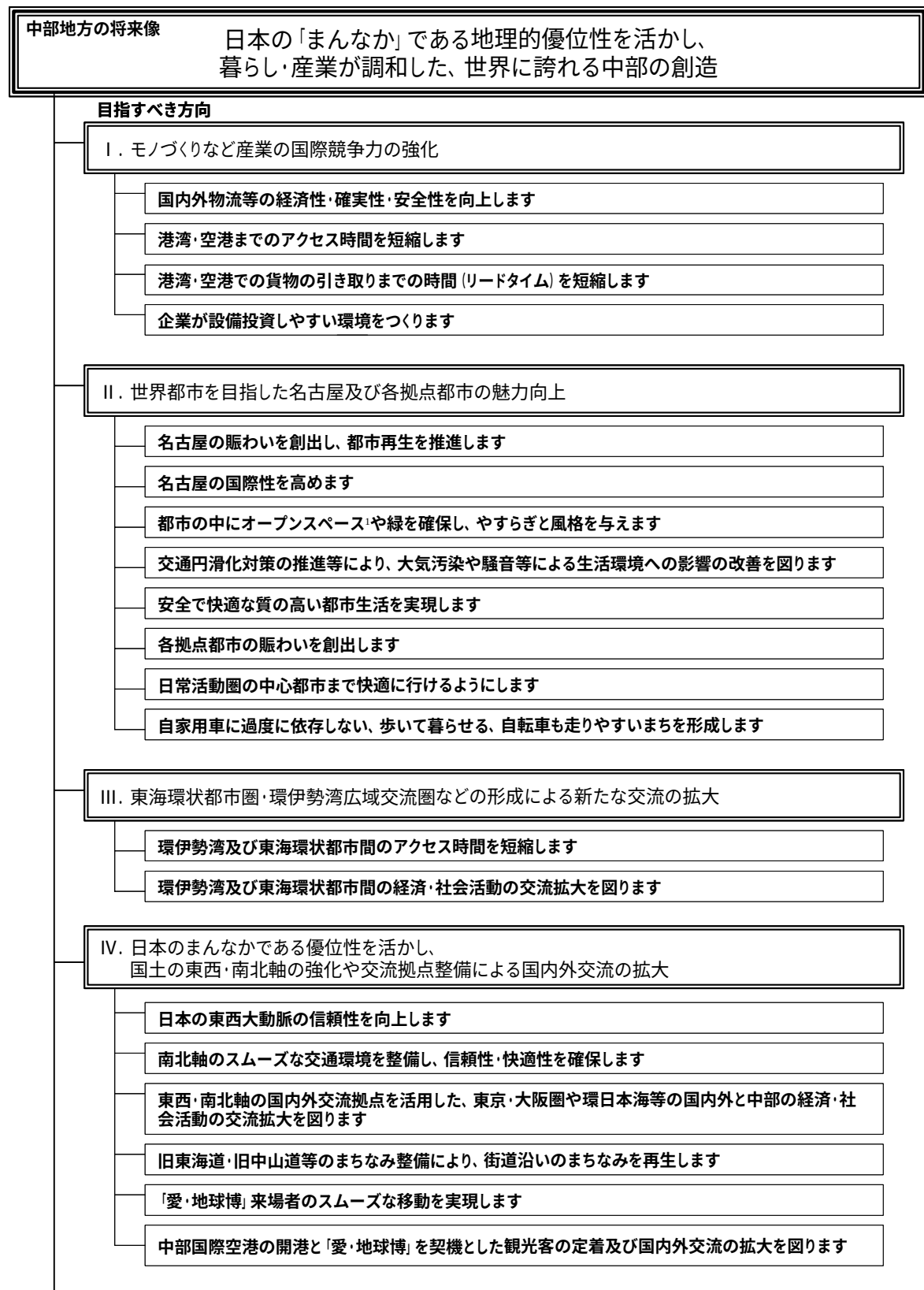


第2部 目指すべき方向と具体的な目標

第1章 政策体系



¹ オープンスペース：[open space] 都市における、建物などのない空いたゆとり空間。公園・広場・河川の水辺・敷地内の空地など。

目指すべき方向

V. 中部の豊かな自然環境、歴史、文化などを活かした地域づくり、観光振興

水質・水量改善を図り、良好な水環境を保全・回復します

自然環境の保全・再生・創出及びダム周辺の山林保全措置制度の活用等による森林管理を推進します

温室効果ガス排出削減等の地球温暖化対策を推進します

循環型経済社会を構築します

農山漁村地域の魅力を向上します

生活圏域や流域、沿岸域の連携を強化します

自然環境・歴史・文化資源を再生・活用した魅力ある地域づくりを進めます

もう一度訪れたいと思う魅力ある地域づくりを進めます

VI. 誰もが生き生きとして暮らせる豊かでゆったりとした生活環境の実現

住宅や住環境の水準を高め、健康でより豊かな住まいづくりを推進します

ニーズにあった住宅を安心して選択できる環境を整備します

公共交通機関の利便性を向上します

IT技術を活用した暮らしに役立つ情報を入手しやすくします

ユニバーサルデザインが実感できる社会を実現します

安全で安心に移動できる生活環境をつくります

誇りを持って住むことができる地域づくり・まちづくりを目指します

まちづくりや水辺・海辺づくり等を進めるグループ作りやその活動及び女性や子供の視点に立った活動を支援します

VII. 東海・東南海・南海地震をはじめとした災害に強い安全・安心な地域づくり

地震等に対する安全性を確保します

風水害等（洪水・津波・高潮・土砂災害等を含む）・火山噴火災害・渇水等に対する安全性を確保します

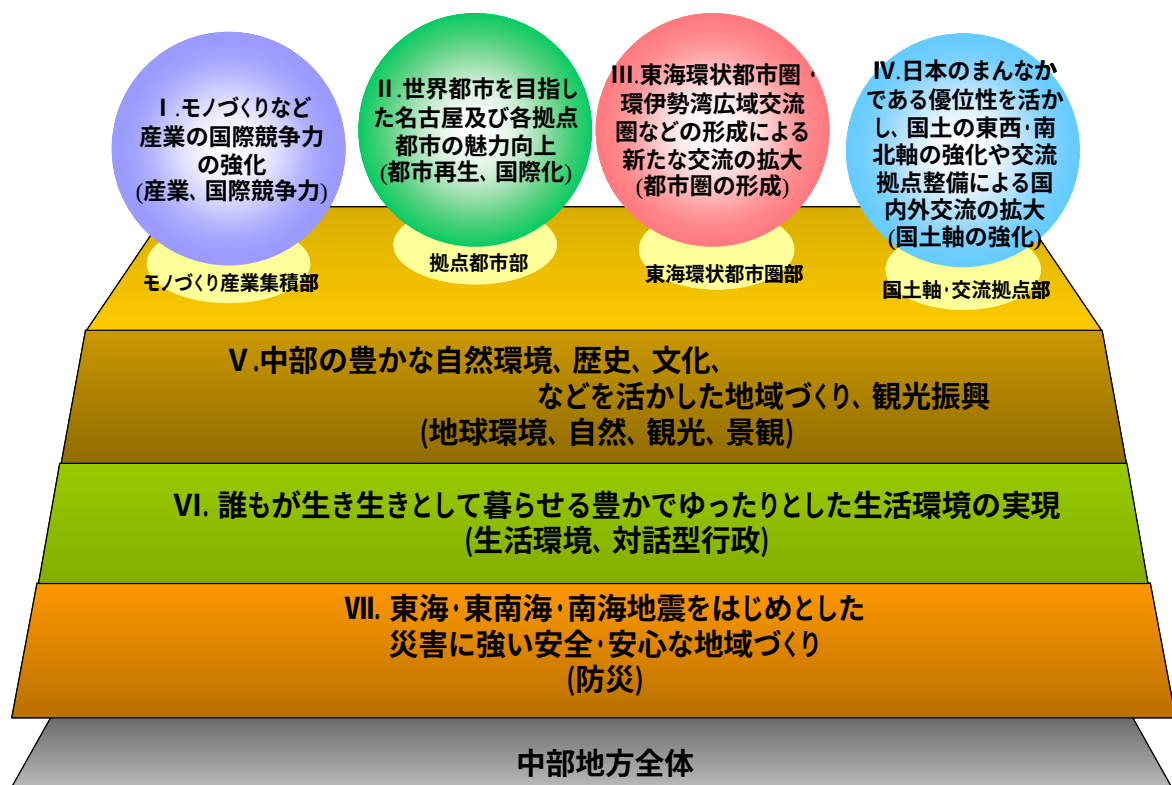
あらゆる災害が発生した場合に被害を最小限に抑え、その対応・復旧が効率的に行えるようにします

信頼性のある社会資本を維持します

各目指すべき方向の対象とする地域と構成

I～IVの方向は、中部地方の課題を克服し、中部地方の産業面での特徴や日本のまんなかにあるという地理的優位性、中部国際空港や「愛・地球博」といった国際的な事業の展開といった中部地方の特性を活かして、特定地域において重点的に取り組むものとして掲げています。

また、V～VIIの方向は、地域住民の暮らし・生活の向上や安全・安心の確保及び自然・環境を活かした地域の個性ある発展といった中部地方全体で等しく達成すべき目標であるとともに、I～IVを実現するための土台となるものとして掲げています。



各目指すべき方向と当面取り組む主要なプロジェクト

広域的・横断的・先導的な観点から、中部地方全体として重要であると共通認識され、今後5年（H19年度まで）程度で完成又は重点的に整備する各施策・事業を取りまとめた、「当面取り組む主要なプロジェクト」を設定し、各機関との連携を図りながら、目指すべき方向の実現に向けて各プロジェクトを推進します。

なお、事業の完成予定等における「H〇〇」は「年度」を意味し、【主要施策・主要事業】のIC名称等については仮称のものがああります。

I	モノづくりなど産業の国際競争力の強化
	■ 名古屋港等国際競争力強化プロジェクト ■ 中部国際空港国際競争力強化プロジェクト ■ 特区制度（四日市等）を活用した産業活性化支援プロジェクト
II	世界都市を目指した名古屋及び各拠点都市の魅力向上
	■ 名古屋にぎわい創出プロジェクト ■ 名古屋都市圏交通リーディングプロジェクト ■ 拠点市街地（岐阜等）再生プロジェクト
III	東海環状都市圏・環伊勢湾広域交流圏などの形成による新たな交流の拡大
	■ 東海環状ものづくり回廊プロジェクト
IV	日本のまんなかである優位性を活かし、国土の東西・南北軸の強化や交流拠点整備による国内外交流の拡大
	■ 東海道・南北大交流プロジェクト ■ 「愛・地球博」まち・ウエルカムプロジェクト
V	中部の豊かな自然環境、歴史、文化などを活かした地域づくり、観光振興
	■ 伊勢湾等再生プロジェクト ■ エコ・中部プロジェクト ■ 歴史・文化・自然を活かした中部観光交流拡大プロジェクト
VI	誰もが生き生きとして暮らせる豊かでゆったりとした生活環境の実現
	■ 中部の豊かな住まいづくりプロジェクト ■ 交通結節点（静岡等）ユニバーサルデザインプロジェクト ■ 住民と協働した地域づくりプロジェクト
VII	東海・東南海・南海地震をはじめとした災害に強い安全・安心な地域づくり
	■ 東海・東南海・南海地震等対策強化プロジェクト ■ 風水害・渇水に強い地域づくりプロジェクト ■ 防災情報提供等プロジェクト